

# 令和6年度 敦賀工業高等学校スクールプラン

## 業務改善のための取組

- ・協議内容を精選し、資料を事前に配付することにより会議時間を短縮する
- ・情報の共有化で文書業務を効率化する
- ・勤務時間管理と業務改善により長時間勤務を縮減する

## 人権教育の推進

- ・人権に関する研修を実施し、生徒と教職員との親和的な関係維持に努める
- ・生徒相互、教職員相互が相手の人権を尊重した行動を身に付ける
- ・社会について、主体的に考察し、公平に判断する力を身に付ける

※項目ごとに重点目標を設定する。

※学校運営上必要な項目、学校の特色・魅力となる項目を独自に設定

※項目数 学校裁量	(共通項目) 1 教育課程・学習支援	(共通項目) 2 生徒支援	(共通項目) 3 進路支援	(独自項目) 4 保健管理	(独自項目) 5 生徒募集	(独自項目) 6 自主性の育成	(独自項目) 7 工業教育
※重点目標 ○	授業を大切にする	自主性を育て、自主的に行動できる生徒を育成する	自身の進路について、主体的に考え行動できる力を身につける	自身の健康に関心を持つ	入学奨励の調査・検討をする	基本的な生活習慣を身につけさせ、進路実現につなげる	探究的な姿勢の獲得を目指す
※具体的取組 取組は1つか2つまで a(取組)  目標：  b(取組)  目標：	<p>具体的取組： 50分フル活用して授業を行う。</p> <p>目標a： チャイム前に教員が入室し、終わりのチャイムまで授業を行う。</p> <p>目標b： 途中入退出を全校で300までに抑える。</p>	<p>具体的取組 研修会やミーティングを行い、教職員の共通理解を図る。</p> <p>目標a： 学年会やクラスにおいても考えや意見を他に伝える場を設定する。</p> <p>目標b： 他者の意見を聞いたり、理解できる生徒を育成する。</p>	<p>具体的取組： a進路活動に自分事として取り組めるよう、地域社会との連携を工夫する。 b個に応じた進学支援を計画・実施する。</p> <p>目標： 生徒の進路意識が向上する(アンケート実施により確認)</p>	<p>具体的取組： 健康診断後の再検査を1学期中に受診していない生徒に対し、放置しておくこと将来どのような病気になるかを説明し、自分の体について関心を持ってもらう。</p> <p>目標： 夏休みが終わるまでに、全員再検査を終えている。</p>	<p>具体的取組： 中学生や保護者に向けたアンケートを実施する。</p> <p>目標a： HPやInstagram等の閲覧回数を増加させる。</p> <p>目標b： 体験入学、オープンスクールの参加者からの入学者を増やす。</p>	<p>具体的取組 a個人面談を実施して意識改善を図る。</p> <p>目標： 遅刻の回数を100回以内にする。</p> <p>b進路決定に向けて手厚くフォローアップする。</p> <p>目標： 本人が納得できる進路実現100%を目指す。</p>	<p>具体的取組： 各学年、月1時間以上の探究的学習時間を設け、年次継続的な取り組みができるテーマについて学習する。</p> <p>目標： 各生徒が設定テーマに関して、一人で探究活動を進められるようになる。</p>